

アメリカ合衆国カリフォルニア州・フェアフィールド市
姉妹都市交換留学生

ホームステイ体験記



12月19日から1月10日の日程で、姉妹都市であるフェアフィールド市へ「姉妹都市中学・高校生派遣事業」の交換留学生として派遣された6名の生徒たちが、23日間のプログラムを終え、無事帰国しました。フェアフィールド市でのホームステイ体験を通じて、それぞれが学んだことや感じたことなど、感想が寄せられましたのでご紹介します



パーティーでホストファミリーの皆さんと記念撮影



すばらしい3週間

蕪崎東中学校

中山 礼偉

僕がアメリカに行きたいと思った理由は、外国の文化やスポーツが好きなので英語を勉強して理解したいと思ったからです。3週間もの期間を海外で過ごすというのは初めてなので不安や緊張もありました。現地の方の英語は想像以上に速く手こずりましたが、僕のつたない英語を理解してくれようと温かく迎えてくれたホストファミリー、現地の方々にとても感謝しています。モントレイで見た夕日、盛大なクリスマス、サンフランシ



ジェリーベリー工場で知られるフェアフィールド。工場ではサンタクロースにも会いました。
※写真右は引率していただいた、利根川清子先生

スコでのバレエ鑑賞など経験した全てのものが、一生の宝物です。

3週間を振り返って

蕪崎東中学校

山本 彩佳

最も印象的だったことは、物のサイズが大きいということです。オーブンは小さめの洗濯機と同じ位だったり、家の中なのにクリスマスツリーは2m位あり、日本とは違っていると実感しました。

また、男の子たちの対応は優しく紳士的で、混んでいるお店で席を見つけてくれたりドアを開けてくれたりとさり

げない心配りがうれしかったです。ホストファミリーとは日本のカレーやクッキーを作ったり、旅行にも行きました。

毎日とても楽しかったのですが、話したいことが伝わらずもどかしい思いもたくさんしました。発音がとても大切だということがよくわかりました。これらを糧に英語力を高め、もう一度アメリカへ行きたいです。



平成 27 年度姉妹都市中学・高校生派遣事業日程表

月 日	日 程
12/19	フェアフィールド市到着
12/20	Family Day・ウェルカムパーティ
12/21	フェアフィールド市役所訪問
12/22	サンフランシスコ観光
12/23	バレエ「くるみ割り人形」公演鑑賞
12/24	Family Day
12/25	
12/26	
12/27	Montreux小旅行
12/28	
12/29	
12/30	Family Day
12/31～1/3	Family Day・ニューイヤーズイブパーティ
1/4	サクラメント・州議会議事堂訪問
1/5～7	学校訪問
1/8	学校訪問・フェアウェル（お別れ）パーティー
1/9	フェアフィールド市出発
1/10	蕪崎西中学校



初めての海外、初めてのホームステイということもあり、楽しみと同時に不安な気持ちの中での出発でした。しかし現地に着くとホストファミリーの方など、たくさんの方々が優しく接してくれ、不安はなくなり充実した3週間を過ごすことができました。一番の体験はやはりクリスマスです。大きいハムやクリスマス

思い出といふ宝物

蕪崎西中学校

浅川 果音

キーを焼いたり、プレゼントをたくさんもらったり、本場のクリスマスマスを体験できたこととても貴重な体験になったと思います。また、不安だった英語も、終盤には大分慣れて聞き取ることがスムーズにできるようになりました。もつと勉強を言葉が通じ合えるようになりたいです。

貴重な体験と思い出

蕪崎西中学校

大橋 凜乃

今回の貴重な体験で宝物のような思い出をつくる事が出来ました。一番強く感じた事は人とのつながりです。初めての外国という事で不安もありました。しかしホストファミリー



ミリーや現地の人は、日本語や分かりやすい言葉を使ってくれたり、困っていると手助けもしてくれました。親切で優しい人とのつながりがあったからこそ、私は楽しい時間を過ごせたのだと思います。また現地でのクリスマスや日本では見る事のできない建物や景色には感動しました。こうした貴重な体験ができたのはたくさんの方々のおかげです。感謝の気持ちを忘れず、この経験を今後に活かしたいと思います。

文化の違いという

貴重な経験

蕪崎東中学校

吉田 さくら

サンフランシスコとモンレーへの小旅行、遊園地、本場のクリスマス、学校訪問などのたくさん思い出があります。サンフランシスコでは、バレエの「くるみ割り人形」を観ました。学校訪問では、フェアフィールド高校に行き



ました。学校に制服でなく私服で通っていました。また、授業中にお菓子を食べている人がいても先生は何も言わなくてびっくりしました。楽しく3週間を過ごせ、日本との文化の違いも知ることができました。

派遣事業を終えて

蕪崎西中学校

田邊 加奈

今回学んだ事を活かしてもつと英語が話せるよう勉強をし、もう一度アメリカに行きたいと思いました。

大切なのは「勇気」と「伝えようとすること」。私はこのことをアメリカで学びました。ホストファミリーと初めて

会った時、とても緊張していました。そんな時、ホストファミリーから質問されて、私はすぐにどう答えれば良いのかわからず勉強不足さを実感しました。このため最初はオドオドしてしまい話題を変えられてしまう時も何回もありまし



姉妹都市派遣学生の証書をいただきました



た。しかし、このままでは自分の思っている事が伝わらないと思い、恥を捨て簡単な単語でも何とか伝えようとしてみました。すると、何となくわかってきて、全部伝わったときはとても嬉しかったです。そこから会話が楽しくなり充実した生活がくれました。良い経験ができてとてもよかったです。